

優秀賞

○設計者

三澤文子

- 大阪府建築士会
- MSD/Ms建築設計事務所



(左より、三澤、稲山)

稲山正弘

- 東京建築士会
- (株)ホルツストラ

○工場

北沢建築工場 ●長野県上伊那郡箕輪町

▶▶▶ 選評

この建物は長野県上伊那郡に建っている。

地域で木造住宅の供給をしている工務店の木材加工工場と展示住宅を兼ねた事務所である。大工職人が、フォークリフトで6mの木材を振り回し、手刻みの加工・組み立てができる作業空間を、建築家・構造家・職人が、地場の材を使い、コラボでつくり上げた加工場である。

作業場の平面は18m×24mの作業空間を持ち、大屋根の架構は、樹状トラス構造を採用することで大空間を可能にしている。県産スギ原木市場から普通に入手可能な材の最大部材寸法は長さ6m、断面120mm×360mmの部材である。この材を使って樹状トラスを組み上げ、母屋と方杖を55mm×105mmのスギ小断面材で227.5mmピッチのルーバー状に配置している。小さな断面を持つスギ材が無数に集まることによって力を分散させる架構はエレガントであり、空間の質を高めている。

大雑把になる作業場の空間は木の素材がそのまま表現され、構造材の架構の美しさが場の緊張感を生み出している。

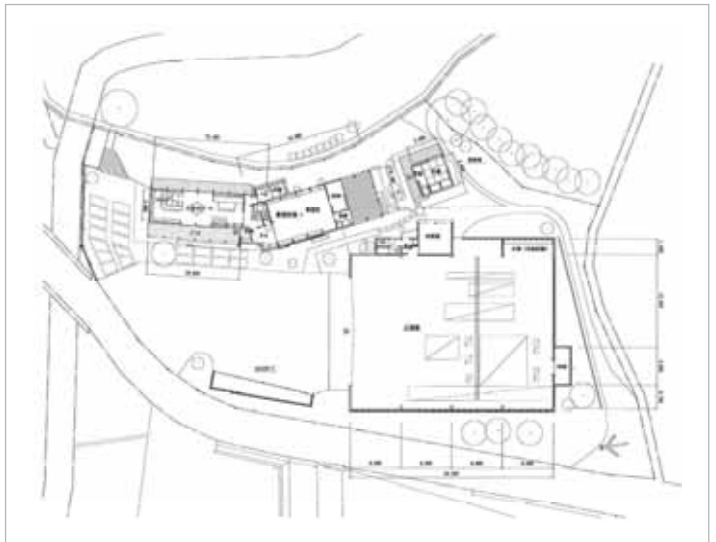
接合部は在来軸組工法の継手・仕口で納められ、ビスとボルトと座金以外の特殊な接合金物は使用せず、接合部は大工職人が手刻みで加工し、建て方も大工で施工し、スパン18mの大空間を実現している。大断面集成材に頼らず、地場産材だけを用いて、地場の大工職人がつくる加工の表現は、地域のビルダーが生きていく方向性を示唆している点として高く評価したい。(竹原義二)



A



B



全体配置図

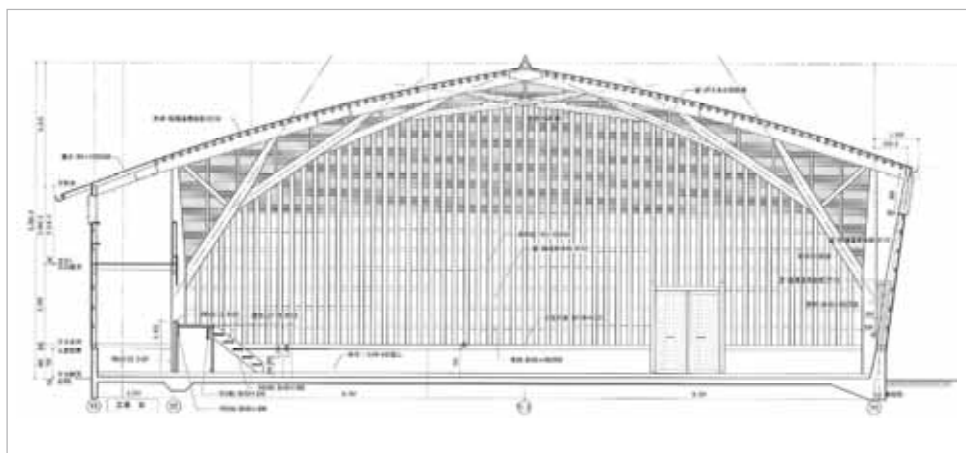
- A: 北側から見た工場棟夕景
- B: 敷地全体を見る。右手が工場棟、左手が展示住宅／事務所棟
- C: 工場棟北側エントランスより見る作業場。18m×24mの大空間で、大屋根には樹状トラス構造を採用
- D: 樹状トラス
- E: 工場棟に隣接する展示住宅／事務所棟外観
- F: 展示住宅／事務所棟内観。壁にはパネルを使用
- G: 工場棟に隣接する研修棟内観



C



D



矩計図



E



F



G

● 構造・階数：木造、地上1階建て ● 敷地面積：1,928.89㎡ ● 建築面積：514.42㎡ ● 延床面積：512.20㎡ ● 竣工：平成22年10月29日

写真撮影：A・C 新建築社